

様式第2号（第6条関係）

粉じんに係る要保全施設設置（使用・構造等変更）届出書

令和 年 月 日

薩摩川内市長 殿

届出者

〔 氏名又は名称及び住所並びに法人にあってはその代表者の氏名 〕

薩摩川内市環境保全条例第7条（第8条、第9条）の規定により、粉じんに係る要保全施設の設置（使用・構造等変更）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称		※ 整理番号	
工場又は事業場の所在地		※ 受理年月日	年 月 日
粉じんに係る要保全施設の種類		※ 施設番号	
粉じんに係る要保全施設の構造	別紙 のとおり	※ 審査結果	
粉じんに係る要保全施設の使用及び管理の方法			
公害防止担当責任者の職名及び氏名		※ 備 考	
業 種			
主要生産品目			

- 備考 1 粉じんに係る要保全施設の種類の欄には、薩摩川内市環境保全条例施行規則別表第1の2に掲げる項番号及び施設名を記載すること。
- 2 ※印の欄には、記載しないこと。
- 3 構造等変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
- 4 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。
- 5 次の書類を添付すること。
- (1) 工場又は事業場の付近の見取図
 - (2) 要保全施設の配置図
 - (3) 操業工程の概要図

別紙1

粉じんに係る要保全施設（堆積場）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における 施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模	面積 (㎡)		
	堆積能力 (t)		
堆積物の種類、性状及び通常 の年間延べ堆積量 (t/年)			
使用 及 び 管 理 の 方 法	堆積場がその中に設置さ れている建築物の概要		
	散 水	装置の種類・ 型式・基数	
		装置の能力 (m^3/h)	
		散水の方法	
	防じんカバーの設置状況		
	薬 液 散 布	薬液の種類・名称	
		装置の種類・ 型式・基数	
		装置の能力 (m^3/h)	
		薬液散布の方法	
	締 固 め	装置の種類・型式	
締固めの方法			
その他の方法			

- 備考 1 堆積物の種類、性状及び通常の間延べ堆積量の欄には、比重、粒度、水分値の概数及び通常の間延べ堆積量について記載すること。
- 2 散水の方法、薬液散布の方法、締固めの方法及びその他の方法の欄には、実施の量（例えば散水の場合は水量 L/t ）、実施頻度等を記載すること。
- 3 その他の方法の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
- 4 粉じんに係る要保全施設及び粉じんの飛散防止のための装置の構造と、その主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙2

粉じんに係る要保全施設（ベルトコンベア）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における 施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模	ベルト幅 (cm)		
	単基の長さ (m) × 基数		
	ベルトの速度 (m/分)		
	運搬能力 (t/h)		
運搬物の種類、性状及び通常 の月間運搬量 (t/月)			
使用 及び 管理 の 方法	ベルトコンベアがその中 に設置されている建築物 の概要		
	集 じん 機	集じん機の 種類・型式	
		集じん機効率 (%)	
		送風機原動機 出力 (kW)	
	防じんカバーの設置状況		
その他の方法			

備考 1 その他の方法の欄には、集じん機等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。

2 粉じんに係る要保全施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造と、その主要寸法を記入した概要図を添付すること。

別紙3

粉じんに係る要保全施設（吐出施設、帯のこ盤、丸のこ盤）の構造並びに使用及び管理の方法

工場又は事業場における 施設番号			
名称及び型式			
設置年月日		年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日		年 月 日	年 月 日
工事完成予定年月日		年 月 日	年 月 日
使用開始予定年月日		年 月 日	年 月 日
規模	原動機の定格出力（kW）		
	処理能力（t/h）		
処理対象物の種類及び通常の 月間処理量（t/月）			
使用 及び 管理 の 方法	吐出施設、帯のこ盤又は 丸のこ盤がその中に設置 されている建築物の概要		
	散 水	装置の種類・型式	
		装置の能力 （m ³ /h）	
		処理量当たりの 散水量（L/t）	
	防じんカバーの設置状況		
	集 じん 機	集じん機の 種類・型式	
		集じん機効率 （%）	
		送風機の前動機 出力（kW）	
その他の方法			

- 備考 1 その他の方法の欄には、散水等と同等以上の効果を有する措置について記載すること。
 2 粉じんに係る要保全施設及び粉じんの処理又は防止のための装置（フードを含む。）の構造と、その主要寸法を記入した概要図を添付すること。